

学校番号

T0206

令和2年度 国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	精選国語総合改訂版（三省堂）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・国語総合では、現代文（随筆、評論、小説）と古典（古文・漢文）の分野を一通り学びます。
- ・持ち物は、教科書と筆記用具です。授業では、本文とノートが組み合わされた冊子を使いますので、ノートの準備は不要です。冊子は授業が終わるたびに回収します。
- ・基礎的な漢字の読み書きや言葉のきまりについて理解できるようになるための学習も行います。
- ・授業に出席し、しっかり内容を理解することが、定期テストの成績に結び付きます。
- ・定期テストは計画的に勉強をしてください。

2 学習の到達目標

- ・基本的な漢字の読み書きができる。
- ・読解の基礎を学ぶことで登場人物の心情や文章の内容、構成を理解できるようになる。
- ・伝統的な言語文化に親しみ、国語を尊重する態度を育てている。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.関心・意欲・態度	b.話す・聞く能力	c.書く能力	d.読む能力	e.知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	・出席状況 ・提出物 ・行動の観察	・行動の観察 ・記述の確認	・行動の観察 ・定期考査	・行動の観察 ・定期考査 ・提出物	・定期考査 ・確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元 (題材)	学習内容	主な評価の 観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d	e		
前期		随筆	教材：「待つ」ということ	○			◎	○	a：具体例や指示語、文章の構成などを手がかりに作者の主張を理解しようとしている。 d：具体例や指示語、文章の構成などを手がかりに作者の主張を理解している。 e：文章を読むときの注目点について理解している。	a：行動の観察 d：定期考査 e：定期考査
		古文入門	教材：「児のそら寝」 文法：五十音図、いろは歌、歴史的仮名遣い(自作教材)	○			◎	○	a：省略された主語、物語の展開、重要古語といった点に注意して、登場人物の心情を理解しようとしている。 d：省略された主語、物語の展開、重要古語などに注意して、登場人物の心情を理解することができている。 e：古文を読むうえで必要となる文法のきまりを理解している。	a：行動の観察 d：記述の確認、定期考査 e：定期考査
		手紙の書き方	教材：自作教材	○		◎		○	a：手紙の基本的な書き方に則り、文体や語句など、適切な表現の仕方できている。 c：文体や語句など、適切な表現の仕方できている。 e：手紙の基本的な書き方について理解している。	a：行動の観察及び記述の点検 c：記述の確認及び提出物 e：定期考査

大阪府立寝屋川高等学校（定時制の課程） 指導と評価の年間計画（シラバス）

後 期	俳句	・俳句入門（俳句の形式、季語など） ・俳句の鑑賞と創作 教材：自作教材	○	○	◎	○	a：人物、情景、描写などを、書き手がどのように表現しているのかを捉え、言葉の深さや表現上の工夫に気づこうとしている。 c：俳句の決まりにしたがって、心情や情景などを自分の言葉で表現しようとしている。 d：人物、情景、描写などを、書き手がどのように表現しているのかを捉え、言葉の深さや表現上の工夫に気づいている。 e：俳句の決まりや、表現の特色について理解している。	a：行動の観察 c：記述の確認及び提出物 d：記述の確認、定期考査 e：定期考査
	評論	教材：「コインは円形か」	○		◎	○	a：具体例や指示語、文章の構成、レトリックなどを手がかりに作者の主張を理解しようとしている。 d：具体例や指示語、文章の構成、レトリックなどを手がかりに作者の主張を理解している。 e：レトリックの効果について理解している。	a：行動の観察 d：記述の確認、定期考査 e：定期考査
	小説	教材：「羅生門」	○	○	◎	○	a：人物や場面の設定をおさえ、登場人物の心情を理解しようとしている。 b：他の生徒の発表を聞くことで、登場人物の心情について自分の読みを深めようとしている。 d：人物や場面の設定をおさえ、登場人物の心情を理解している。 e：比喩のもたらす効果について理解している。	a：行動の観察、記述の確認 b：行動の観察、記述の確認 d：記述の確認、定期考査 e：定期考査
	漢文入門	・返り点、送り仮名（自作教材） ・故事成句（教科書所収の作品）	○		◎	○	a：先人がどのようにして中国の文化を受容したのか考えようとしている。 d：漢文の特徴や、文章の構成を理解している。 e：漢文を読むために必要な返り点、送り仮名について理解している。	a：行動の確認 d：記述の確認、定期考査 e：定期考査

※ 表中の観点について a.関心・意欲・態度 b.話す・聞く能力 c.書く能力
d.読む能力 e.知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について、優先度の高

いものから、◎、○、空欄として示している。

学校番号

T0206

令和2年度 国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	精選国語総合改訂版（三省堂）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・様々な文章を読む力、すなわち「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けるための学習を行います。また、基礎的な漢字の読み書きができるようになるための学習を行います。
- ・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
- ・授業に出席し、しっかり内容を理解することが、定期考査の成績に結びつきます。

2 学習の到達目標

- ・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
- ・目的や場に応じた的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
- ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
- ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.関心・意欲・態度	b.話す・聞く能力	c.書く能力	d.読む能力	e.知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の確認 (ノート、プリント等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析(ワークシート)	記述の点検及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元 (題材)	学習内容	主な評価の 観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d	e		
前期		詩を読む	I was born (詩)						<p>a:情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。</p> <p>d:情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。</p> <p>e:文章の形態による違いや特色について理解している。</p>	<p>a:行動の観察及び記述の点検</p> <p>d、e:記述の確認と分析及び考査</p>
		評論1	水の東西 (評論)						<p>a:考えの進め方、文章の筋道を的確にとらえようとしている。</p> <p>d:考えの進め方、文章の筋道を的確にとらえている。</p> <p>e:文章を正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やし、接続詞を理解している。</p>	<p>a、d:行動の観察及び記述の点検</p> <p>e:記述の確認・考査</p>
		評論2	コインは円形か (評論)						<p>a:考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえようとしている。</p> <p>b:効果的な文章表現について考え、自分の意見をわかりやすく発表している。</p> <p>d:文章の筋道を的確に読み取り、自分の考えを深めている。</p> <p>e:文章を正しく理解し、ことばの決まりや特徴を理解している。</p>	<p>a、b:行動の観察及び記述の点検</p> <p>d:記述の確認及び小テスト</p> <p>e:考査</p>

		短歌・俳句	その子二十 いくたびも (短歌・俳句)	○	◎	○	◎	<p>a：言語文化への関心を深めている。</p> <p>c：目的や意図に応じた表現であることを理解し、考えを深めている。</p> <p>d：作品の情景や作者の心情を読み取ることができている。</p> <p>e：ことばの決まりや特徴を理解している。</p>	<p>a、b:行動の観察及び記述の点検</p> <p>d:記述の確認及び定期考査</p> <p>e:定期考査</p>
後 期		物語	「伊勢物語」 「平家物語」 (古文)	○		◎	○	<p>a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。</p> <p>d:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。</p> <p>e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。</p>	<p>a:行動の観察及び記述の点検</p> <p>d:記述の確認及び定期考査</p> <p>e:考査</p>
		漢文	(故事成語) 漁夫之利 推 敲		◎		◎	○	<p>a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。</p> <p>d:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。</p> <p>e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。</p>

	小説	清兵衛と瓢箪 (小説)						<p>a:情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。</p> <p>d:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。</p> <p>e:文章を正しく理解し、ことばの決まりや特徴を理解している。</p>	<p>a:行動の観察及び記述の点検</p> <p>d:記述の確認及び考査</p> <p>e:小テスト及び考査</p>
--	----	----------------	--	--	--	--	--	--	--

※ 表中の観点について a.関心・意欲・態度 b.話す・聞く能力 c.書く能力
d.読む能力 e.知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について、優先度の高いものから、◎、○、空欄として示している。

令和2年度 国語科

教科	国語	科目	国語総合（通信）	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	精選国語総合改訂版（三省堂）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
- ・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
- ・レポートの提出期限は必ず守りましょう。再提出もありますので、期日の余裕を持って提出してください。

2 学習の到達目標

- ・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
- ・目的や場に応じた的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
- ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
- ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.関心・意欲・態度	b.話す・聞く能力	c.書く能力	d.読む能力	e.知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の確認 (レポート)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (レポート、定期考査)	記述の確認及び分析(レポート、定期考査)	行動の観察 記述の確認 (レポート、定期考査)

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元 (題材)	学習内容	主な評価の 観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d	e		
前期		レポート 1	I was born (詩)						<p>a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。</p> <p>d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。</p> <p>e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p>	<p>a：行動の観察及び記述の確認</p> <p>d、e：記述の確認と分析及び定期考査</p>
		レポート 2	平家物語 (古文)						<p>a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。</p> <p>d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。</p> <p>e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。</p>	<p>a：行動の観察</p> <p>d：記述の確認及び定期考査</p> <p>e：定期考査</p>
		レポート 3	水の東西 (評論)						<p>a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。</p> <p>d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。</p> <p>e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。</p>	<p>a：行動の観察及び記述の点検</p> <p>d:記述の確認及び定期考査</p> <p>e:考査</p>

		レポート 4	伊勢物語 (古文)	○	◎	○	<p>a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。</p> <p>d:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。</p> <p>e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。</p>	<p>a : 行動の観察及び記述の確認</p> <p>d:記述の確認及び定期考査</p> <p>e:定期考査</p>
後 期		レポート 5	漁夫之利 春暁 (漢文・漢詩)	◎	◎	○	<p>a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。</p> <p>d:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。</p> <p>e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。</p>	<p>a : 行動の観察及び記述の確認</p> <p>d:記述の確認及び定期考査</p> <p>e:小テスト及び定期考査</p>
		レポート 6	レポートを書こう (正確な情報を伝え、自分の考えを論理的に構成することを通してレポートの書き方を学ぶ)	○	◎	○	<p>a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書こうとしている。</p> <p>c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。</p> <p>e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p>	<p>a、c、e : 記述の点検と確認及び分析</p>

	レポート 7	ディベートを行う 〈ディベートを通して、互いの考えを深めながら、話し方聞き方について学ぶ。〉	○	◎				○	<p>a:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合おうとしている。</p> <p>b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。</p> <p>e:話すこと・聞くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p>	a、b、e： 行動の観察と確認及び分析	
	レポート 8	空缶 (小説)					○	◎	○	<p>a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。</p> <p>d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。</p> <p>e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p>	a：行動の観察及び記述の点検 d、e： 記述の確認及び定期考査

表中の観点について

- a.関心・意欲・態度
- b.話す・聞く能力
- c.書く能力
- d.読む能力
- e.知識・理解

原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について、優先度の高いものから、◎、○、空欄として示している。

令和2年度 国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2単位	年次	4年次
使用教科書	国語表現 改訂版 （大修館書店）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・国語表現では、書く力や話す力を身につけるための学習を行います。
- ・前期には、書くことを中心に、整った文の書き方や、履歴書での自己PR方法などを学びます。また敬語についても学習します。
- ・後期には、話すことを中心に、議論を重ねて結論を出す練習や、人前で話す練習を行います。
- ・国語表現では、持っている国語力を実生活の中で活かしていく方法を学びます。そのため、授業の中に実践を多く取り入れます。そうした授業の中で取り組む実践課題も考查と同様、評価において重要なものとなります。

2 学習の到達目標

- ・ 目的や場に応じて国語で適切かつ効果的に表現することができる。
- ・ 進んで表現しようとすることによって、自ら社会生活の充実を図ることができる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.関心・意欲・態度	b.話す・聞く能力	c.書く能力	d.読む能力	e.知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上をはかろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。		伝統的な言語文化および言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	・行動の観察 ・記述の確認（提出物等）	・行動の観察（発表のパフォーマンス等）	・授業内課題等 ・定期考查		・行動の観察 ・定期考查

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元 (題材)	学習内容	主な評価の 観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d	e		
前期	書いて伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・整った文を書く ・わかりやすい文を書く ・文のつながり方 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名遣い等の表記 ・係り受け ・文末表現 ・接続詞 等	○		◎		○	a：積極的に自身の言葉で表現しようとしている。 c：整った文を書くことができる。 e：悪文と良文の違いがわかる	a：行動の観察と確認 c：授業内課題及び定期考査 e：定期考査
	自己PRと面接	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめて ・効果的な自己PR ・志望動機をまとめよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・マップ法 ・履歴書等の志望動機の手書き方 等	○		◎		○	a：自身をしっかりと見つめることができる。またそれを元に、考えたことを積極的に自身の言葉で表現しようとしている。 c：効果的な言葉を用いて自己PRを行うことができる。 e：マップ法等の技術を用いてアイデアを集めることができる。	a：行動の観察と確認 c：授業内の課題 e：行動の観察と確認
	敬語のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語 	<ul style="list-style-type: none"> ・尊敬語 ・謙譲語 ・丁寧語 	○					◎	a：尊敬語を身につけようとしている。 e：場面に応じて適切な敬語を使うことができる。

後 期	会話・議論・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・議論して結論を出す ・ディベートを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ショートスピーチ ・グループ内で議論し根拠を明確にした上で結論を出す ・資料から情報を読み取り、グループ内で情報を共有する ・ディベート ・模擬裁判等 	○	◎	○	<p>a：自ら積極的に議論に参加することができる</p> <p>b：自身の意見を明確な根拠を持って述べるができる。また、他人の意見を的確に聞き取ることができる。</p> <p>e：ディベートのルールや裁判員制度などを理解している。</p>	<p>a：行動の観察と確認</p> <p>b：行動の観察と確認</p> <p>e：定期考査</p>
	魅力的なポスターを作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的なポスターを作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー ・5W1H等 	○	◎	○	<p>a：積極的に創作活動に取り組むことができる。</p> <p>c：必要な情報を適切に組み込みながら、ポスターを創作することができる。</p> <p>e：5W1H等、記事を書く上で重要なことを理解している。</p>	<p>a：行動の観察と確認</p> <p>c：授業内課題</p> <p>e：定期考査、授業内課題</p>

※ 表中の観点について a.関心・意欲・態度 b.話す・聞く能力 c.書く能力
d.読む能力 e.知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について、優先度の高いものから、◎、○、空欄として示している。

学校番号

T O 2 0 6

令和2年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B I	単位数	2単位	年次	3・4年次
使用教科書	新編現代文B（東京書籍）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・『新編現代文B』のI部に収められた作品を読んでいます。
- ・随筆、小説、評論の各分野を一通り学びます。
- ・授業では、本文中の漢字や語句の意味といった基礎の部分を押さえつつ、国語総合よりも少し高度な読解にも挑戦します。
- ・授業の初めには漢字プリントを行い、テストにも出題します。
- ・持ち物は、教科書と冊子、そして筆記用具です。毎回、持ち物の点検を行います。
- ・テスト前は、本文を何度も読み返し、内容を覚えるようにしましょう。
- ・提出物の期限は守りましょう。定期テストは計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

- ・語句の意味や指示語などをおさえ、文章の内容や構成、登場人物の心情を的確に理解することができる。
- ・様々な作品に触れることでものの見方や感じ方、考え方を深め、それらを適切に表現することができる。
- ・自分以外のものの見方や考え方に関心を持ち、自己を豊かにしていこうとする態度を育てている。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.関心・意欲・態度	b.話す・聞く能力	c.書く能力	d.読む能力	e.知識・理解
観 点 の 趣 旨	・様々な文章を読むことで、ものの感じ方や考え方を広め、読書に関心を持ち、国語の向上を図ろうとしている。	・受講生の発表や意見を取り入れたり、話し合うなどして、自分の考えを深めている。	・作品を読み、登場人物の心情や表現の特色、書き手の考えなどについて根拠に基づいて自分の意見を書こうとしている。	・文章を読み、書き手の意図や心情描写を的確に読み取るとともに、文体や修辞などの表現上の特色を味わう姿勢を持っている。	・語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにしようとしている。 ・表現の特色や文章の構成を知り、自分の表現や推敲に生かそうとしている。
評 価 方 法	・出席状況 ・授業態度 ・取り組み方 ・提出物	・行動の観察	・行動の観察 ・ワークシート ・定期考査	・発言内容 ・ワークシート ・定期考査	・定期考査 ・確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元 (題材)	学習内容	主な評価の 観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d	e		
前期		随想 (いのちと 自然)	教材: 俵万智「さ くらさくらさく ら」	○			◎	○	a : 人物、情景、心情などを、どのよ うに書き手が表現しているのかを捉 え、言葉の美しさや深さ、表現上の工 夫に気づこうとしている。 d : ①語句の意味や指示語、前後関係 などをおさえ、書き手の主張を的確に 読み取っている。 d : ②人物、情景、心情などを、どの ように書き手が表現しているのかを捉 え、言葉の美しさや深さ、表現上の工 夫に気づいている。 e : 文章の形態や文体の違いによる特 色について理解している。	a、e : 行動の 観察及び記述 の確認 d : 記述の確認 及び定期考査
		小説 (つながる 心)	教材: 井上ひさし 「ナイン」	○		○	◎	○	a : 人物、情景、心情などを、書き手 がなぜこのように描いているのかを捉 え、比喩の効果や風景描写の役割に気 づこうとしている。 c : 登場人物の心情を教科書本文に基 づいて捉えることができる。 d : 人物、情景、心情などを、書き手 がなぜこのように描いているのかを捉 え、比喩の効果や風景描写の役割に気 づいている。 e : 登場人物の心情を的確に理解する ための着目点について理解している。	a : 行動の観察 及び記述の確 認 c、d、e : 記 述の確認及び 定期考査
		評論 (考える手 がかり)	教材: 「科学的で あるために」	○			◎	○	a : 文章の構成や指示語、具体例、接 続語などに注目し、作者の主張を理解 しようとしている。 d : 文章の構成や指示語、具体例、接 続語などに注目し、作者の主張を理解 している。 e : 作者の主張する「科学的」な考え 方について理解している。	a : 行動の観察 及び記述の確 認 d、e : 記述の 確認及び定期 考査

大阪府立寝屋川高等学校（定時制の課程） 指導と評価の年間計画（シラバス）

後期	小説 (物語の中へ)	教材：井伏鱒二 「山椒魚」	○			◎	○	a：山椒魚の心情や置かれた状況などを捉え、比喩の意味するところに気づこうとしている。 d：山椒魚の心情や置かれた状況などを捉え、比喩の意味するところに気づいている。 e：比喩の種類と、古めかしい語句の意味について理解している。	a：行動の観察及び記述の確認 d、e：記述の確認及び定期考査
	短歌・俳句	教材：自作教材	○	○	○	◎	○	a：人物、情景、描写などを、書き手がどのように表現しているのかを捉え、言葉の深さや表現上の工夫に気づこうとしている。 b：作品を通して感じたことを他者に伝え、また他者の意見を聞くことで自身の考えを深めることができる。 c：気に入った作品の一つを選び、作品のすぐれた表現などについて鑑賞文を書くことができる。 d：人物、情景、描写などを、書き手がどのように表現しているのかを捉え、言葉の深さや表現上の工夫に気づいている。 e：短歌や俳句の基本的なきまりや、表現上の特色について理解している。	a、b、d：行動の観察及び記述の確認 c：記述の確認、定期考査 e：定期考査
	評論(考える手がかり)	教材：「「ふしぎ」ということ」	○			◎	○	a：指示語、具体例、接続語、段落と段落との関係などに注目し、作者の主張を理解しようとしている。 d：指示語、具体例、接続語、段落と段落との関係などに注目し、作者の主張を理解している。 e：作者の主張について理解している。	a：行動の観察及び記述の確認 d、e：定期考査

※ 表中の観点について a.関心・意欲・態度 b.話す・聞く能力 c.書く能力
d.読む能力 e.知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について、優先度の高いものから、◎、○、空欄として示している。

学校番号

T0206

令和2年度 国語科

教科	国語	科目	現代文BⅡ	単位数	2単位	年次	4年次
使用教科書	新編現代文B（東京書籍）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・小説と評論文を、同じ割合で学習します。
- ・漢字の読み書きの練習も行います。
- ・授業ではプリントを使用します。失くさないように保管してください。
- ・教科書を使用します。必ず持参してください。
- ・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
- ・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

- ・評論文と小説を通し、言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.関心・意欲・態度	b.話す・聞く能力	c.書く能力	d.読む能力	e.知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元 (題材)	学習内容	主な評価の 観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d	e		
前期	評論の内容を理解するⅠ	時代をひらく	教材:「もう一つの知性」 「モードの論理」	○	◎	○	○		<p>a：文章の構成や指示語、具体例、接続後などに注目し、作者の主張を理解しようとしている。</p> <p>b：筆者の考えと自分の考えを対比し、自分の考えを他者に話し、伝達できている。</p> <p>c：筆者の考えを要約でき、自分の考えを明確に書くことができる。</p> <p>d：文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているのかどうかを考察している。</p>	<p>a、b：行動の観察と確認</p> <p>c、d：記述の確認と分析及び定期考査</p>
	小説の内容を理解するⅠ	虚構と真実	教材:「葉桜と魔笛」 「カンガルー日和」	○			◎	○	<p>a：物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるように描こうとしている。</p> <p>d：人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気づいている。</p> <p>e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p>	<p>a：行動の観察及び記述の確認</p> <p>d、e：記述の確認と分析及び定期考査</p>

後期	評論の内容を理解するⅡ	現代を生きる 教材:「環境史から考える」 「国際化の流れの中で」	○	○	◎	○	<p>a：文章の構成や指示語、具体例、接続後などに注目し、作者の主張を理解しようとしている。</p> <p>b：筆者の考えと自分の考えを対比し、自分の考えを他者に話し、伝達できている。</p> <p>c：筆者の考えを要約でき、自分の考えを明確に書くことができる。</p> <p>d：文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているのかどうかを考察している。</p>	<p>a、b：行動の観察と確認</p> <p>c、d：記述の確認と分析及び定期考査</p>
	小説の内容を理解するⅡ	生のかたち 教材「山月記」 「鞆」	○		◎	○	<p>a：物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるように描こうとしている。</p> <p>d：人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気づいている。</p> <p>e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p>	<p>a：行動の観察及び記述の確認</p> <p>d、e：記述の確認と分析及び定期考査</p>

表中の観点について

a.関心・意欲・態度 b.話す・聞く能力 c.書く能力 d.読む能力 e.知識・理解

原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について、優先度の高いものから、◎、○、空欄として示している。

学校番号

T0206

令和2年度 国語科

教科	国語	科目	古典 A	単位数	2単位	年次	3,4年次
使用教科書	高等学校 改訂版 標準 古典 A 物語選（第一学習社）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・近代以前の文学を中心に学習します。また、それらに関して書かれた現代の文章も扱います。
- ・古文、漢文の両方を勉強します。
- ・授業ではプリントを使用します。失くさないように保管してください。
- ・教科書を毎回使用します。必ず持参してください。
- ・暗記しなければならないことが非常に多いので、考査前には必ずしっかりと復習しましょう。
- ・日々の授業を大切にしましょう。また、提出物の期限は守りましょう。

2 学習の到達目標

- ・伝統的な言語文化に触れ、生涯にわたって古典に親しむ姿勢がある。
- ・古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考えることができる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.関心・意欲・態度	b.話す・聞く能力	c.書く能力	d.読む能力	e.知識・理解
観 点 の 趣 旨	古典を読む力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	内容	単元 (題材)	学習内容	主な評価の 観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d	e		
前期	古文・随筆	「徒然草」 「方丈記」	筆者の人生観や人間観などを読み取り、その特色を理解するとともに、自分自身の考え方を深め、視野を広げる。	◎			○	○	a：内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとする。 d：筆者の人生観や人間観を読み取る。 e：基本的な助詞・助動詞の用法について理解している。	a：行動の分析 d：記述の確認・考査 e：記述の確認・考査
		「助長」 「推敲」	比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。	○			◎	○	a：話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。 d：登場人物の考え方を理解する。 e：漢文の基本的な訓点の読み方、書き下し文等について理解している。	a：行動の分析 d：記述の確認・考査 e：記述の確認・考査

後期	古文・物語	「伊勢物語」 「大和物語」	和歌の修辞法や歌合をめぐる登場人物のやりとりを理解し、物語の世界を読み味わう。	○		○	◎	<p>a：話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。</p> <p>d：登場人物の心情と物語の展開をおさえて和歌の内容を理解している。</p> <p>e：和歌の修辞法について理解する。</p>	<p>a：行動の分析</p> <p>d：記述の確認・考査</p> <p>e：記述の確認・考査</p>
	漢文・諸家の思想	「孟子」 「老子」	基本的な句法・語法を理解する。 儒家・道家の思想について理解する。	◎		○	○	<p>a：個々の相違点を意識しながら、それぞれの思想家の主張を理解しようとする。</p> <p>d：簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読み取る。</p> <p>e：基本的な句法・語法を理解する。諸子の思想について理解する。</p>	<p>a：行動の分析・記述の確認・考査</p> <p>d：記述の確認・考査</p> <p>e：記述の点検</p>

※ 表中の観点について a.関心・意欲・態度 b.話す・聞く能力 c.書く能力
d.読む能力 e.知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について、優先度の高いものから、◎、○、空欄として示している。